

医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院 広報誌「むさし」

# MUSASHI

特集:はじまる! 武蔵ヶ丘病院リハビリテーションセンター

MUSASHI

vol.18

2026.7

本誌は無料です。ご自由にお持ち帰りください。

制作/武蔵ヶ丘病院 総務課 広報

TAKE FREE

2026.7  
vol.18

医療法人 田中会  
**武蔵ヶ丘病院**

〒861-8003 熊本市北区楠7丁目15-1  
Tel.096-339-1161(代表) Fax.096-339-4717(代表)

武蔵ヶ丘病院 検索

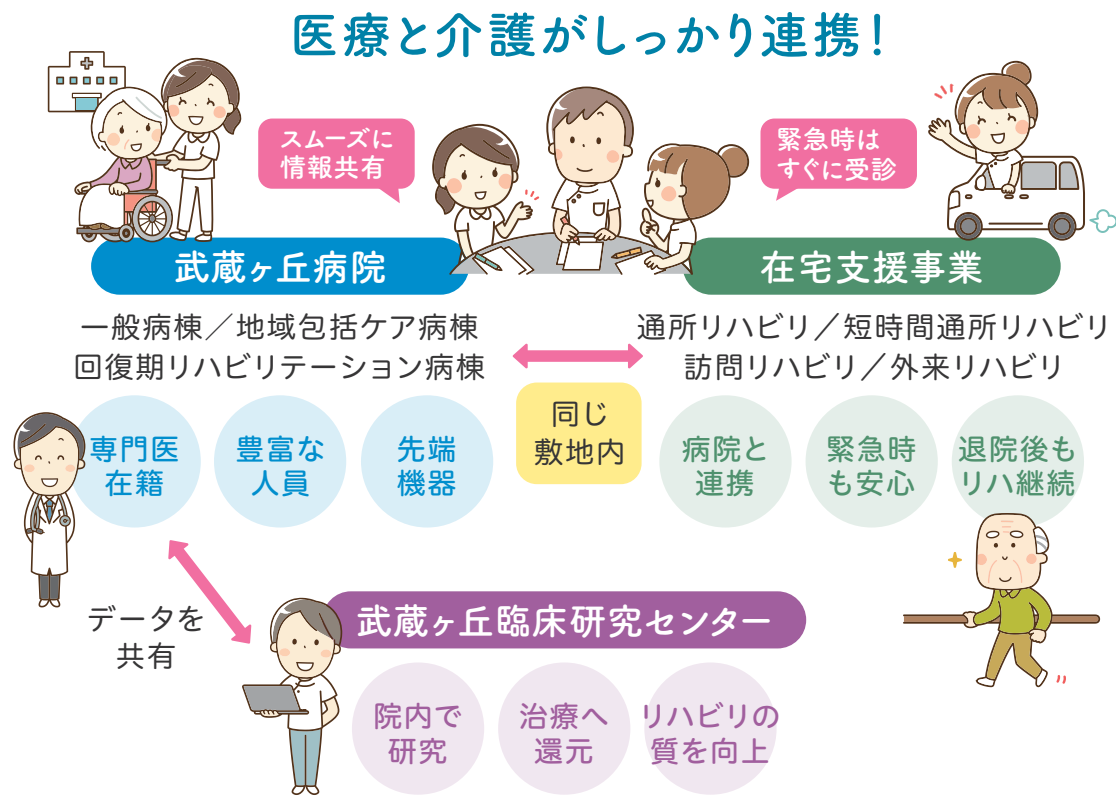


外来予約専用ダイヤル ☎ **096-339-1155**

- ご予約は受診希望日の前日までに、ご連絡をお願いいたします。
- ご予約は定期受診の方が対象です。初診の方のご予約はお受けいたしかねます。(予約制の診療科は除く)

## Q ここだけの強みは？

専門スタッフと先進機器が充実しており、リハビリ専門医を中心に多職種が連携して標準化された質の高いリハビリを提供しています。  
また、医療・介護連携による切れ目のない支援体制、武蔵ヶ丘臨床研究センターによる研究と臨床の両立も大きな強みです。



## Q これからの目標は？

地域のリハビリ拠点として、皆さまに安心してお任せいただける存在となることを目指しています。  
この度リハセンターのホームページを開設しましたので、ぜひご覧ください！



ホームページ

## Q どんなところ？

2026年5月、入院から在宅までを支える各部門のリハビリにおける連携や強みを改めて整理・明確化し、『武蔵ヶ丘病院リハビリテーションセンター』として新たにスタートしました。  
「治療(なおす)」「支援(ささえる)」「予防(つよくする)」の3本柱で構成され、病気になった方から健康な方まで、皆さまに充実したリハビリを提供しています。

### リハビリテーションセンターの3本柱

<b>治療</b> なおす	入院初日から退院まで、切れ目のない医療を提供。	
<b>支援</b> ささえる	在宅復帰後の生活の機能維持・改善をサポート。	
<b>予防</b> つよくする	地域全体の健康増進と介護予防に取り組む。	

自分らしい生活を続けられるよう、切れ目なくサポートします。

※建物や設備の新設ではありません。



せんじゅ ゆうき

**千手 佑樹 先生**

リハビリテーション科専門医。今年度より、『武蔵ヶ丘病院リハビリテーションセンター』のセンター長に就任。

『武蔵ヶ丘病院リハビリテーションセンター』って？  
リハセンターの特長について、センター長の千手先生にお話を伺いました。

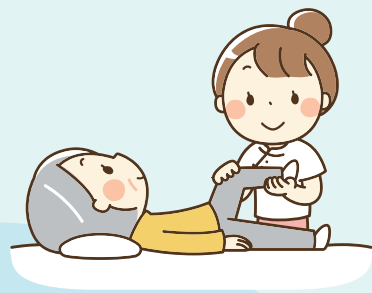
# リハセンターを支える11の職種

たくさん専門スタッフがひとつのチームになって、皆さまの生活を支えます。

## 理学療法士 (PT)

### 「歩く」「立つ」の専門家

「起きる」「歩く」などの練習をサポートし、しっかり動ける体づくりを目指します。



## 作業療法士 (OT)

### 「手の動きと生活」の専門家

食事や着替えなど、毎日の生活動作の練習をし、社会復帰を支えます。



## 言語聴覚士 (ST)

### 「話す」「飲み込む」の専門家

言葉が出にくい方のリハビリや、食事を安全に飲み込むための練習を行います。



## 看護職

### 「健康と安心」の専門家

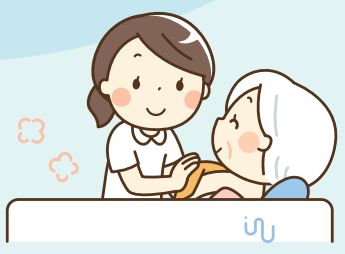
毎日の体調管理を行います。リハビリでの成果を、普段の生活にも活かせるよう支えます。



## 介護職

### 「生活とお世話」の専門家

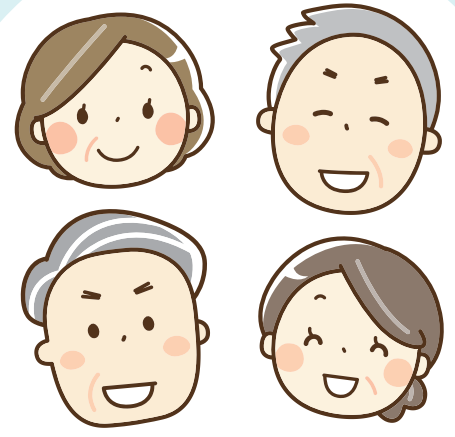
身の回りのお世話やレクリエーションを担当します。



## 医師

### 「チームをまとめる」専門家

リハビリ全体の計画を立て、指示を出します。



地域の方々

## 薬剤師

### 「お薬」の専門家

効果的なお薬の飲み方を正しくチェックします。安全に服薬を続けられるようサポートします。



## 管理栄養士

### 「ごはん(栄養)」の専門家

元気にリハビリをするための体力を食事で作ります。噛む力に合わせたメニューを考えます。



## 歯科衛生士

### 「お口の健康」の専門家

お口の中を清潔に保つケアや、入れ歯の調整などをします。



## ケアマネジャー

### 「お家での介護サービス」の相談窓口

退院後もお家で安心して暮らせるよう、必要な介護サービスの計画を立てて手配します。



## 社会福祉士 (MSW)

### 「医療費や退院先」の相談窓口

入院費などの制度や、退院後の行き先について相談にのり、不安なく過ごせるようお手伝いします。



もっと詳しく知りたい方はHPへ!

## 「またやりたい!」を叶える専門医療

「自分らしい生活」を目指し、専門的な検査による評価に基づいた治療を行います。



### 嚥下機能検査

カメラなどで飲み込みを確認し、安全な食事方法を見つけます。



### 運転支援

再び安全に車を運転できるよう、必要な能力を評価し支援します。



### 装具・けい縮治療

こわばりを和らげ装具で動きを補うなど、練習を効率よく助けます。

## 普段の病棟生活にもリハビリをプラス!

リハビリ専門職だけでなく、多職種が一丸となり、毎日の生活と回復をしっかり支えます。



### 病棟レクチャー

訓練でできた動作を病棟でも行えるよう、看護師らと共有します。



### リハ栄養／ミールラウンド

管理栄養士を中心に、リハビリの進み具合に合わせて食事内容を調整します。



### 服薬自己管理

お薬を自分で安全に飲めるよう、薬剤師らが最適な管理方法を指導します。

## 当院で行っているリハビリの種類

当院では、お一人おひとりの状態や目標に合わせ、最適なリハビリを組み合わせ提供しています。



歩く  
歩行リハビリ

生活する  
生活リハビリ

食べる  
嚥下リハビリ

話す  
言語リハビリ

### 歩行リハビリ

体の状態をしっかり確認し、最新のロボットや道具で、「歩く力」を支えます。



- 例
- 歩行動作の解析
  - ロボット歩行練習

### 生活リハビリ

最新機器や練習を通して手先や日常の動作を整え、復帰をサポートします。



- 例
- トイレや家事などの練習
  - 手指ロボット練習

### 嚥下・言語リハビリ

専門の検査で「食べる力」「話す力」を確認し、機器などを用いた練習を提案します。



- 例
- 飲み込みの練習
  - 発声・お話の練習

体を動かす練習から言葉の訓練まで、当院のリハビリ内容を紹介します。

入院中のリハビリについて



もっと詳しく知りたい方はHPへ!

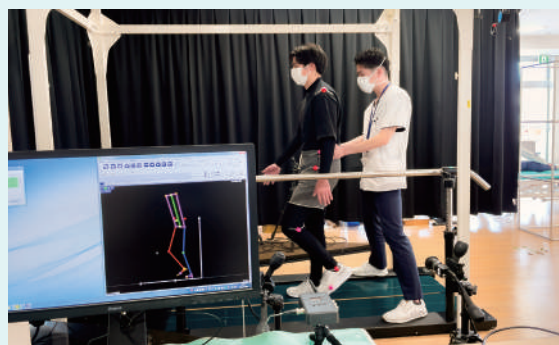
# リハビリ環境と機器のご紹介

充実した設備と心地よい環境で、日々の暮らしの「できる」を一緒に増やします。



## ウェルウォーク 歩行リハビリ

脳卒中片麻痺向けの歩行訓練ロボットです。中等度・重度の方の歩く練習を安全に支えます。



## キネマトレーサー 歩行リハビリ

歩き方をカメラで正確に測る機器です。体の動きや重心の偏りを詳しく分析します。



## メルツ 生活リハビリ

「手の筋肉の動き」をAIがキャッチし、思った通りの操作を助けるロボットです。指先のリハビリを支えます。



## メディVRカグラ 生活リハビリ

VRの映像を使う最新機器です。ゲーム感覚で楽しく手を伸ばすことで、姿勢や脳を刺激します。



## パスリーダー 嚥下・言語リハビリ

「磁気」の力で深層の筋肉まで動かす機器です。ピリピリした痛みがなく、優しく、飲み込む力を鍛えます。



## ジェントルスティム EX 嚥下・言語リハビリ

「電気」の力でのどの感覚を呼び覚ます機器です。麻痺した部分を刺激し、食べる力と飲み込む力を高めます。



## リハビリテーション室(2階)

明るく開放的なリハビリ室は、テニスコート4面分の広さがあります。最新の訓練機器が充実しており、安心してリハビリに励めます。



## ADL室(2階)

リハビリ室の一角には、自宅の環境を再現した部屋「ADL室」があり、生活動作の練習ができます。

## 病棟廊下

リハビリ室と病室を繋ぐゆったりとした廊下は、歩くだけで毎日のリハビリになります。



もっと詳しく知りたい方はHPへ!

地域の公民館や当院などで開催中! /

# 介護予防・健康づくりの取り組み

開催日時・場所は様々です。詳しいスケジュールは、  
当院までお問い合わせいただくか、ホームページをご確認ください。

## 1 地域密着リハビリテーション



専門スタッフが公民館などに出向き、  
健康講座やご当地体操の普及活動など  
を行っています。

## 2 むさし健康まなヴィレッジ



毎月第4水曜に当院で開催している健康  
イベントです。毎回違うテーマで、健康  
のコツを楽しく学べます。

## 3 むさし健康祭



毎年秋頃開催している年に1度の大会  
イベントです。楽しく体験しながら、自  
分の体を知れます。

## 4 リハビリ見学会



当院の取り組みを「見て・聞いて・話  
せる」見学会です。地域の医療機関や  
介護事業所が対象になります。

## 「どう過ごす？」で選ぶ、あなたに合うリハビリ



食事・入浴  
交流もしたい

1



① 通所リハビリテーション  
食事や入浴のサポートを受けつつ、  
専門リハビリを行えます。



短い時間  
サッと動きたい

2



② 短時間通所リハビリ  
マシンで、短時間かつ効率的に元  
気に動ける体をつくります。



慣れた家に  
来てほしい

3



③ 訪問リハビリテーション  
ご自宅に伺い、生活に合うリハビ  
リと安全な環境を整えます。



病院で  
受けたい

4



④ 外来リハビリテーション  
退院後のリハビリを継続し、スム  
ーズな社会復帰を助けます。

当院の在宅支援事業所は、すべて病院併設です。緊急時の受診・入院  
相談もすぐのできるの、安心してご利用いただけます。

各事業所の詳しい情報は、当院までお気軽にお問い合わせください

退院後のリハビリについて  
住み慣れた我が家で元気に過ごせるよう、退院後の様々なサポートを紹介します。



もっと詳しく  
知りたい方は  
HPへ!

ココも見て!

# まだまだある! リハセンターの魅力

これまでに紹介しきれなかったリハセンターの魅力をスタッフがお届けします!

## Check! 回復期リハビリ病棟では、「お誕生日会」を開催!



回復期リハビリテーション病棟では、「お誕生日会」を毎月開催しています。介護福祉士を中心に、歌やゲームなどのレクリエーションを行い、みんなで楽しく交流を深めています♪

私が紹介します!



スタッフS

## Check! 身体を前へ押し出す! 「カーボン製杖」の効果検証中!

私が紹介します!



スタッフT

MCRCでは現在、シュポーン株式会社様と共同で「カーボン製杖」の効果検証を進めています!

杖の反発力で「前進」をアシストする機能が、試用者からも「歩きやすく、足が出しやすい」と好評です。今後の成果にぜひご期待ください!



## Check! 最新情報をInstagramで発信しています!

Instagram



インスタチーム

イベント報告や研修の様子などを日々更新しています! ぜひフォローしてください♪



musa\_reha

私が紹介します!



スタッフI

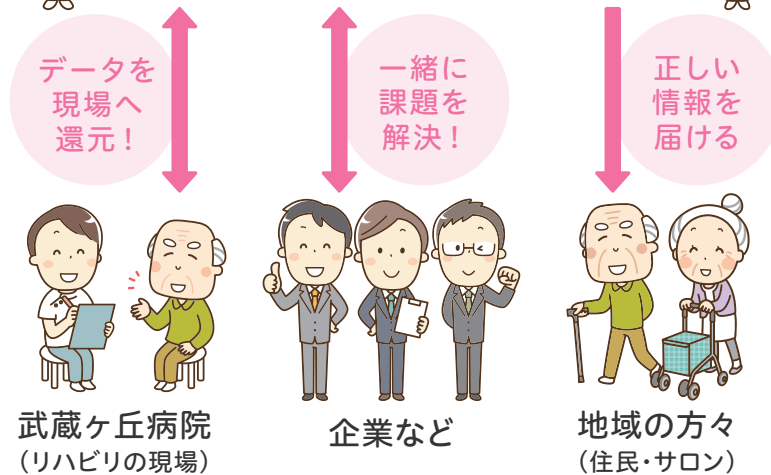
## 武蔵ヶ丘病院の研究部門 「MCRC (エム・シー・アール・シー)」

当院には、文部科学省指定の研究部門「武蔵ヶ丘臨床研究センター(通称MCRC)」があります。

ここでは診療データを科学的に分析しており、その成果を現場の療法士が日々のリハビリに活かすことで、質の高い安心な医療と介護をお届けしています。



武蔵ヶ丘臨床研究センター  
(MCRC)



### 主な研究内容

- 「脳の回復」と「歩行能力」の関係についての調査
- リハビリロボットの治療効果の研究
- 骨粗鬆症や身体的虚弱の予防策の研究
- 「腰や膝の痛み」と「体の動き」の関係の調査
- 食事や栄養とリハビリ効果の調査
- 心臓・呼吸器障害へのリハビリ効果の研究

実は / リハビリの未来をつくる  
研究をしています。

日々のリハビリをもっと良くする、院内の研究センターを紹介します。



もっと詳しく知りたい方はHPへ!

## チーム一丸で新体制へ！ リハビリ部が全体研修を実施



講義をする千手センター長

5月、リハビリテーション部全体研修を開催しました。千手センター長による「リハビリテーション総論」の講義に加え、6月の新制度改定に向けた方針を共有しました。今後も質の高いリハビリを提供できるよう、部全体の更なる研鑽に努めます。

## 地域ボランティアの方をお招きし、 クラシックギターの演奏会を開催！

4月、看護小規模多機能ホームむさしにて、地域ボランティアの方々をお招きし、クラシックギター演奏会を開催しました。童謡など懐かしい旋律を通じて会話や笑顔が広がり、回想法も交えながらご利用者同士で思い出を語り合う心温まるひとときとなりました。



演奏会の様子

## 車椅子で世界2周。三代達也氏が語る 『医療者に教えて欲しかった未来』



講演をする車椅子トラベラーの三代達也氏

5月、職員を対象に、車椅子トラベラーの三代達也氏の講演会を開催しました。事故から世界2周の軌跡、そして『医療者に教えて欲しかった未来』をテーマに、患者の可能性を広げる視点を共有。医師やスタッフとの対話も深まる貴重な時間となりました。

## 手作りの温もり、看護の現場へ。 「認知症マフ」の寄贈に感謝

4月、JA菊池女性部の皆様より手作りの「認知症マフ」をご寄贈いただきました。色とりどりの温かい想いが詰まったマフは、触れることで心穏やかな時間をもたらしてくれることと思います。看護の現場で大切に活用させていただきます。



ご寄贈いただいた手作りの「認知症マフ」